

増田俊男の『愉快な暴言』2025年7月1日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] info@chokugen.com

[X(旧 twitter)] [t_masuda2019/](#)

[Youtube] 増田俊男チャンネル/

[instagram] [t_masuda2019/](#)



時事評論家 増田俊男

驕る平家(マスク)は久しからず

EV(電気自動車)テスラのCEOイーロン・マスクは2024年の大統領選でトランプを支援、2億7,400万ドル(411億円)を寄付し、トランプ最大の貢献者となった。

トランプ政権発足と同時に、マスクの社員大量解雇の辣腕ぶりを買われ、新設DOGE(政府効率化省)の局長に任命され、公務員の大量解雇、USAID(アメリカ合衆国国際開発庁)など多くの機関との契約を破棄、約\$1billion(150億円)の節約をした。

強引さからマスクに対する批判は多かったが寅(トランプ)の威を借る狐(マスク)で無駄な機関を次々と閉鎖した。

将来は大統領などと言われ、マスクは有頂天であった。

ところがマスクは自分が必死になって行政の無駄をなくしているのに、トランプは減税や財政大判振る舞いをしている、一体何を考えているのだ、ということになり、トランプの「大きくて美しい」減税法案に真っ向から反対を表明し、「トランプは正気の沙汰ではない」などと悪口を叩くようになった。

一心同体に見えたトランプとマスクの仲は陰悪になり、マスクは130日の就任期限の5月末に辞めてしまった。

当の減税法案は下院を僅か一票差でかろうじて通過、現在上院で審議中。

マスクは法案に賛成する上院の共和党議員に、「もし賛成するなら次の選挙(来年11月)で(対抗候補に資金援助して)落選させる」など脅しをかけた。

さらに、「もし法案が可決されたら、新党が結成される」などと言い、「私がこの世で最後にやりたいことは、彼ら(賛成者)を来年の選挙で落選させることだ」と自分のソーシャルメディアXに投稿した。

カネのかかる大統領選でトランプに大金を払い、そのお礼だと言って、誰もやりたがらない公務員首切りと、人道上やりにくい貧困支援団体などを廃止する役職、いわばスケープゴード役にされ、トランプにとって用が無くなったところで、自ら辞任した。

トランプは腹の中で「マスク君、ご苦労さんでした」と笑っているだろう。

トランプの「大きくて美しい」法案に賛成した者を落選させる前に、もしトランプの慈悲(テスラと政府との契約)が無いとテスラは倒産するのではないのか。

テスラの2025年第一四半期の営業利益は71%下がり、欧州の売り上げは70%ダウン、国内でもテスラ不買運動が起きている。

その上、ここまでテスラを支えてくれたマスクの右腕、左腕の人材のみならず、ロボタクシーの技術責任者など優秀な幹部が次々と辞任、テスラを去っている。

マスクさん、10兆円ほどの小金が出来たので驕りが出ましたね。

人間驕ったら終わりです。

※【残数わずか!】小冊子 Vol.150 を無料配布いたします。 <https://www.musrjec.com/>

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、
事前にマスダ U.S.リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313) までお知らせ下さい。